

〔共同研究：堀辰雄をめぐる文学空間〕

書 誌

読書書誌索引稿

——『芥川龍之介全集』（岩波書店 1977-1978）を基盤に——

志 保 田 務*
山 田 忠 彦**I 芥川龍之介読書書誌索引の作成：
目的と経緯

1990年代を通じて志保田は、桃山学院大学総合研究所の下に、明治末期～昭和前期に豊かな読書記録を残した作家の読書遍歴を追究するプロジェクトに所属した。当系統のプロジェクトの研究目的は、読書歴を通して作品創造の素地を探ることにある。また日本の近現代文学確立期の作家の読書記録から、その活動期に紹介され、読まれた外国文学作品を把握する。比較文学的観点に、文学史的関心を重ねた研究の所為である。この根底をなす読書書誌〔の作成〕は、目録学研究者においては、中心目的である。

研究手法的には、第一に、作家が残した随筆・日記・手紙などを対象に読書記録を拾い出し、作家ごとに書誌を作る。次に、この書誌を土台に、創作活動を確認し、論評を加える。さらには、これら作家間の知識的共通性を探る。

対象作家は、芥川龍之介、中村眞一郎、堀辰雄である。当プロジェクトでは、これら3人の作家にある種共通項を見てとる。そこで生誕年が早い作家から順に読書書誌を作成した。成果は、本誌第21巻第3号等を通して順に発表した。ただし索引を提示できずに来た。

索引のない書誌は閉鎖的であり、活用しがたい。索引の未完成のゆえに、一本の読書書誌の編集に至らないまま過ぎた。ここに、ようやくに索引稿を提示する。芥川龍之介の読書書誌に対する著者索引である。ここに、プロジェクト

の研究対象たる堀辰雄の直系祖ともいふべき地点にある芥川龍之介の読書遍歴の確認することは、堀辰雄研究の基盤をなす。これを標記プロジェクトの成果とし提出したい。

II 芥川龍之介読書書誌索引記事概要

記事内容は、芥川龍之介の読書物（彼自身による読書記録のあるもの）の索引である。下記読書書誌（本体）に索引づける（所在指示）。

(1) 記事の基盤

「芥川龍之介の読書遍歴」（稿：一本としては未刊行）がこの索引のアプローチする本体である。この「本体」は、年表形式を採り、読書したと見なす年月日を第一の見出しとし、日付順に排列している。この年月日が、索引から本体に至る手段（所在指示）である。

(2) 本体および索引の採録典拠

読書記録収集の典拠は、下記である。

芥川龍之介全集／吉田精一〔ほか〕編。岩波書店、1977-1978 全12巻。

芥川龍之介未定稿集／葛巻義敏編。岩波書店、1968。全1巻。

III 先行・芥川読書書誌索引の系譜

(1) 『芥川龍之介全集』の巻末索引

当書誌（本体）が依拠した『芥川龍之介全集』（吉田精一〔ほか〕編。岩波書店、1977-1978 全12巻）の最終巻（第12巻）巻末（p.753-732：逆方向）には索引がある。全集収載の芥川龍之介の作品の索引であり、当稿が対象としている読書作品とは無関係である。この索引における所在指示は、全集内の所載巻・頁である。

*本学文学部

**京都大学法学部図書室

(2) 『芥川龍之介全集総索引：付年譜』

上記とは別に同全集の別冊として『芥川龍之介全集総索引：付年譜』（宮坂覚編、岩波書店、1993）がある。この「総索引」は、実際は「付年譜」の方を扉の側においている。その後部に展開される索引は下記の三部構成が採られる。

（①～③の番号は、筆者の都合で与えた）

①芥川作品索引 ②人名索引：付載、芥川龍之介別名索引 ③引用作品索引

このうち、①「芥川作品索引」は芥川龍之介の作品のタイトルを、こまかく採録したもので、『芥川龍之介全集』の巻末索引をより詳しくしたものと言える。従って(1)と同じ意味から本稿の索引対象とは異なる対象を検索するものである。

次に②「人名索引」は、『芥川龍之介全集』上に見られるすべての人名（ただし、芥川龍之介が記した彼自身の別名は別立て）である。索引項目は、小説など創作作品にも及ぶ。手紙、日記などからの採録もあり、そうした情報源からは、当方が拾ったと同様の作家名が記されて

いる。

第3の索引として③「引用作品索引」が編まれている。これは、芥川龍之介によって言及されている作品を採録配列し、作者名を「()」（丸がつこ）に入れて補っている。ここにある索引対象は、読書対象とはほぼイコールと見ることができよう。

これら3索引における所在指示は、全集内の所載巻・頁である。

本稿では、芥川龍之介の読書物の著者索引を編纂している。所在指示として、読書された年月日、つまり、年月順に配列した読書書誌本体の所載先を用いた。これによって、その作品の読書時期を書誌本体を通さずとも知ることができる。傾向として、上記(2)の②（人名索引）に似ているが、②とは異なって、著作者と見られる者に限っている。ただし、芥川龍之介が記した実在しない著者については、そうした事情を付したうえ採録している。書名または作品名の索引は作成しない。作品の多くは、著者名を先の鍵として把握されるものであるからである。

芥川龍之介読書書誌索引

凡例

(1) 索引の範囲（種類）

①著者索引

本稿は、芥川龍之介の著作の時代において、原則漢字で表された著者と、それ以外によって表される著者されたものにわけた。

本稿は、本来漢字で表される著者によって著されたものに限定した。

②雑誌、新聞索引（本稿では、省略）。タイトル索引は設けない。

(2) 索引項目：項目とした意味と記載法

①索引項目

著者名、タイトル、年月日。

②項目とした意味と記載法

原則は芥川龍之介がた形による。ただし明かな誤記は訂正した形で表示した。

〈著者名〉

著者名は、当索引における第一の要素である。

著者名はその著者が用いた固有の形で記し、それに読みを付した。2以上の名等を用いた者においては、よく知られた名等に集め、必要に応じて、その他の名等の個所において参照を設け、集中した名等へ導いた。

〈タイトル名：著作名・書名〉

タイトル名はその著者が本来与えたと見られる形で記した。古典のタイトルには、多用形を用いた。2以上の著作名等が散在している場合は、よく知られているものを採用した。「高著」、「君の小説」など著作名を芥川龍之介が著作名をで明示していないものについては、本体本文の注記に従って可能な限り特定化した。芥川龍之介が読書物のタイトルのように記しているが特定できなものは「 ”」（クォーテーション・マーク）で包み示した。以外は、「……」を記した。このうちには、個々の俳句・短歌、詩そのもの（その一部を含む）を芥川龍之介が記している場合をも含む。

〈年月日〉

「年月日」は本索引における本体への所在指示の役目を担う、不可欠の要素である。その記載は、明治の場合M43.7.5のように、昭和の場合はS2.1.1のように略記した。大正の場合は、大量なため、単に3.4.5のように記した。

(3) 排列

まず著者の音順に排列する。今般の対象で日本人以外は、音読みにより、五十音順に排列した。同一著者の下ではタイトルの音順に排列し、所在指示は年月日の早いものから順に記録した。

著 者 名	著 作 名	年・月 日
あ)		
会津八一 [あいずやいち]	南京新唱	S2. 2. 26
饗庭篁村 [あえばこうそん]	……	14. 10. 不
	馬琴日記抄	14 ?
	與太郎料理	14. 11. 8
青木健作 [あおきけんさく]	……	S2. 4. 1
	彷徨	12. 6. 5
赤井三郎 [あかいさぶろう]	……	S2. 2. 23
赤木桁平 [あかぎこうへい]	“鷗外論”	6. 10. 7
	藝術家の心（フローベル論）	7. 6. 18
	“秋宵雜筆”	6. 11. 3
	太子諸行讃 [?]	10. 11. 15
	遊蕩文學撲滅論	5. 8. 9
	黎明の死	8. 1. 12
明石敏夫 [あかしとしお]	半生 [?]	14. 4. 16
明野胡枝子 [あけの. . .]	パン	10. 2. 1
浅井了意 [あさいりょうい]	お伽婢子	13. 7. 1
麻生恒太郎 [あそうつねたろう]	……	15. 9. 23
麻生 [久?] [あそうひさし]	黎明 [?]	13. 10. 22
安倍能成 [あべよししげ]	芭蕉俳句研究	11. 11. 28
新井洗 [あらいあきら]	微明	6. 1. 1
有島生馬 [ありしまいくま]	嘘の果	8. 6. 4/ 8. 12. 5/ 9. 1. 1
有島武郎 [ありしまたけお]	……	8. 12. 5/ 9. 11. 20
	或女	8. 12. 5

著 者 名	著 作 名	年・月 日
い)		
飯田蛇笏 [いいだだこつ]	……	7. 不. 不
猪狩史山 [いかりしざん]	女禍傳	15. 1. 21
井川恭 →		
恒藤恭 [つねとうきょう]		
生田春月 [いくたしゅんげつ]	……	9. 11. 1
生田長江 [いくたちょうこう]	……	7. 5. 1/14. 2. 1
	円光	6. 10. 25
生田蝶介 [いくたちょうすけ]	……	10. 1. 29
池崎忠孝 →		
赤木桁平 [あかぎこうへい]		
池田桃川 [いけだとうせん]	江南の名勝史蹟	11. 1. 1
池西言水 [いけにしごんすい]	……	9. 1. 9
	“言水句集”	10. 1. 15
池大雅 [いけのたいが]	十便十宜	7. 10. 21/13. 2. 1
石川啄木 [いしかわたくぼく]	……	S2. 5. 1
	悲しき玩具	11. 1. 不/S2. 4. 1
石川雅望 [いしかわまさもち]	……	S2. 8. 1
石川六樹園 →		
石川雅望 [いしかわまさもち]		
石坂養平 [いしざかようへい]	……	8. 5. 1
石丸梧平 [いしまるごへい]	……	9. 11. 20
泉鏡花 [いずみきょうか]	……	6. 5. 7/ 6. 8. 1/ 8. 1. 1/ 9. 2. 4/14. 6. 1/14. 7. 1/ 14. 10. 不/S2. 4. 1
	愛府	13. 11. 24
	入子話	13. 11. 24
	婦系圖	14. 5. 5
	鏡花全集 (全15巻)	14. 3. 不
	草迷宮	14. 5. 5
	黒猫	14. 2. 22/15. 9. 10
	紅雪録	10. 1. 1
	櫻貝 [?]	7. 5. 1
	七もと櫻	15. 9. 10
	七寶の柱	13. 4. 4/14. 5. 10
	芍薬の歌	8. 12. 5/ 9. 2. 10
	趙城のおとみさん	13. 11. 24
	新江戸土産	9. 4. 8
	深沙大王	14. 5. 5
	通夜物語	14. 5. 5

著 者 名	著 作 名	年・月 日
	天守物語	14. 5. 5
	化銀杏	7. 1. 1
	貧民俱樂部	14. 5. 5
	風流線	9. 8. 1/14. 5. 5
	湯女の魂	14. 5. 5
市川團十郎 (二代目) →		
市川栢筵 [いちかわはくえん]		
市川栢筵 [いちかわはくえん]	老の樂	13頃
市來四郎 [いちきしろう]	市來四郎日記	7. 1. 1.
市島春城 →		
市島謙吉 [いちしまけんきち]		
市島謙吉 [いちしまけんきち]	隨筆頼山陽	12. 不. 不
市場通笑 [いちばつうしょう]	豆男江戸見物	13. 6. 1
伊藤左千夫 [いとうさちお]	……	S2. 5. 1
伊藤貴麿 [いとうたかまろ]	……	10. 10. 1
	男妾	12. 8. 1
稲垣足穂 [いながきたるほ]	……	14. 1. 1
	一千一秒物語 [?]	12. 2. 18
	第三半球物語 [?]	S2. 4. 3
	星を賣る店	12. 8. 1
犬養健 [いぬかいたける]	……	S2. 11. 1
	ひと秋の場面	13. 12. 25/14. 1. 8/14. 2. 1
	雪 [?]	14. 1. 8
井上紅梅 [いのうえこうばい]	支那風俗卷之上、花柳語彙	10. 8. 17
井上士朗 [いのうえしろう]	八九間雨柳	12. 10. 1
井上井月 [いのうえせいげつ]	……	9. 9. 10
井上哲次郎 [いのうえてつじろう]	英華字典	14. 5. 21
井原西鶴 [いはらさいかく]	……	9. 8. 1/12. 不/14. /
		14. 4. 25/14. 7. 1/
		14. 11. 1/S2. 5. 1
	近年諸國咄大下馬	13. 7. 1/S2. 4. 1
	子供地藏	S2. 4. 1
	西鶴置土産	S2. 8. 1
伊福部隆輝 [いふくべたかてる]	芥川龍之介論	11. 9?
岩野英枝 [いわのはなえ]	イタリヤ軒	8. 11. 26
岩野泡鳴 [いわのほうめい]	……	8. 7. 14/ 9. 12. 不/12?
	お常	8. 12. 5
	美人	9. 4. 8
	山の總兵衛	8. 6. 4
岩野美衛 →		
岩野泡鳴 [いわのほうめい]		

著 者 名	著 作 名	年・月 日
巖谷小波 [いわやさざなみ]	浦島太郎 (日本昔噺)	13. 5. 1
斎部路通 [いんべろつう] 編著	芭蕉翁行状記	S2. 8. 1
う)		
上田秋成 [うえだあきなり]	雨月物語	7. 5. 1/ 7. 5.16/14. 5. 5
	白峰 (雨月物語)	7. 5.16
	春雨物語	7. 5. 1
	つづらふみ	10. 1. 1
上田敏 [うえだびん]	うづまき	M43. 7? / 2. 8.19/ 8.12. 5/ 9.10. 6
	海潮音	14. 4.26
	詩聖ダンテ [?]	S2. 5. 1
	獨語と對話	8. 1. 1
内田百閒 [うちだひゃくけん]	件	10. 2. 1
	山東京傳	10. 2. 1
	土手	10. 2. 1
	花火	10. 2. 1
	豹	10. 2. 1
	冥途	10. 2. 1/15. 1.14/S2. 8. 4
	旅順入城式	S2. 8. 4
宇野浩二 [うのこうじ]	……	9.11.20/14. 8. 1/ 14.11. 1/S2. 4. 1
	兄と歩く	14. 1. 8
	鴉	10. 8.17
	苦の世界	8.12. 1/ 9. 4. 8
	心づくし	12. 8. 1
	高天ヶ原	S2. 5. 4
	足りない人	15. 2. 1
	轉々	8.12. 1
	長い戀仲	8.12. 1
	迷へる魂	9. 4. 8
	見残した夢	14. 1. 8
	戀愛三昧 [?]	11. 1.13
	我が日我が夢	S2. 5. 6/S2. 6. 1
浦川和三郎 [うらかわわさぶろう]	日本に於ける公教會の復活	S2. 4. 1
え)		
江口渙 [えぐちかん]	赤い矢帆	8.11. 1
	芥川君の作品	6. 6.30
	惡靈	8.12. 5
	墓	6. 1. 2

著 者 名	著 作 名	年・月 日
	貴様は國賊だ	6. 3. 9
	切り捨御免	12. 3. 1
	小供と犬	8. 2. 8
	二種の微笑	6. 6. 10
	巴西侯	8. 6. 4
	馬丁	8. 11. 1 / 8. 12. 5
江島其磧 [えじまきせき]	魂膽色遊懷男	13. 6. 1
江南文三 [えなみぶんぞう]	……	S2. 4. 1
榎本破笠 [えのもとはりゅう]	南都炎上	10. 2. 15
瀬原退藏 [えばらたいぞう]	蕪村全集	14. 9. 8
江馬修 [えまなかし: 通称えましゅう]	不滅の像	8. 12. 5
園梧 [えんご]	碧巖録	15. 8. 9 / S2頃
燕雀生 [えんじゃくせい]	泥古殘念帖	14. 4. 1
袁随園 → 袁枚 [えんばい]	……	7. 5. 1 / 13. 9. 20
袁枚 [えんばい]	新齋諧	6. 8. 1 / 8. 1. 1 / 10. 8. 17
お)		
小穴隆一 [おあなりゅういち]	馬のつるむ話	8. 11. 27
	回想記	8. 11. 27
	悲しき誕生日	8. 11. 27
	志一さんの話	8. 11. 27
	斷章	8. 11. 27
	宮島先生	8. 11. 27
	われ唯一度きみを欺けり	8. 11. 27
王建 [おうけん]	“宮詞”	9. 4. 16 / 11. 1. 1
王彦泓 [おうげんおう]	疑雨集	10. 8. 17
王次回 → 王彦泓 [おうげんおう]		
王実甫 [おうじつぽ]	西廂記	6. 8. 1 / 7. 5. 1 / 8. 1. 1 / 10. 8. 17 / 11. 8. 1 / 15. 10. 1
王世貞 [おうせいてい]	……	9. 10. 6
	藝苑卮言	14. 3. 1
王大錯 [おうだいさく]	戲考	14. 2. 1
王陽明 [おうようめい]	……	10. 8. 17
王翼雲 [おうよくうん]	古唐詩合解	6. 10. 11
大岡龍男 [おおおかたつお]	不孝者 [?]	S2. 6. 24
大久保湖州 [おおくぼこしゅう]	家康と直弼	13. 5. 1
	遺老の實歴談に就きて	13. 5. 1
大熊信行 [おおくまのぶゆき]	……	S2. 2. 17

著 者 名	著 作 名	年・月 日
大倉喜八郎 [おおくらきはちろう]	……	6. 9. 1
大島支郎 [おおしましろう]	田能村竹田	9. 7. 20
大島蓼太 [おおしまりょうた]	芭蕉句解	11. 11. 22
大須加乙字 [おおすがおつじ]	南畫論 [?]	8. 12. 14
太田南甫 [おおたなんぽ]	浮世繪類考	5頃
	未翁南甫句集	14. 7. 4
大田黒元雄 [おおたぐろもとお]	……	6. 9. 16
大谷光瑞 [おおたにこうずい]	對支横議	13. 3. 1
大槻文彦 [おおつきふみひこ]	言海	13. 3. 1
大伴家持 [おおとものやかもち]	……	9. 6. 1
大原千春 [おおはらちはる]	武蔵曲	13頃
大町桂月 [おおまちけいげつ]	「桂月全集」第8巻	11. 12. 31
大村賢太郎 [おおむらけんたろう]	“詩の翻譯7篇”	9. 不. 不
	日本の繪畫に現れたる支那	9. 不. 不
	藤子	9. 不. 不
	Aloysius Bertrand の研究	9. 不. 不
岡榮一郎 [おかえいいちろう]	……	13. 4. 1
	寫樂論	15. 10. 8
	聯芳樓記	10. 5. 10
岡麓 [おかふもと]	庭苔	15. 12. 4/S2. 3. 2/ S2. 4. 1
岡田三郎 [おかださぶろう]	……	9. 11. 20
	兵營時代	9. 4. 8
岡本綺堂 [おかもとときどう]	……	13. 10. 22
	綺堂戯曲集 [?]	13. 6. 4
	筑摩の湯	13. 6. 8
岡谷繁実 [おかやしげざね]	名將言行?	S2頃
小川破笠 [おがわはりつ]	……	13頃
小川未明 [おがわみめい]	……	8. 12. 5
	繪に別れた夜より	8. 6. 4
荻生徂徠 [おぎゅうそらい]	……	14. 8. 1
荻原井泉水 [おぎわらせいせんすい]	……	15. 7. 1
尾崎紅葉 [おざきこうよう]	……	9. 2. 4/14. 7. 1/14. 10. 不
	青葡萄	11. 11. 1
	伽羅枕	9. 2. 3
	金色夜叉	14. 5. 5
	十千萬堂日録	9. 8. 21
	多情多恨	9. 2. 3/14. 5. 5
	二人女房	9. 2. 3

著 者 名	著 作 名	年・月 日
小山内薫 [おさないかおる]		8.12. 5
小澤忠兵衛 →		
小澤碧堂 [おざわへきどう]		
小澤碧堂 [おざわへきどう]	……	9. 8. 1/ 9.10.24
	最中集	13. 5.14
押川春浪 [おしかわしゅんろう]	……	M43. 7. 3
溫庭筠 [おんていいん]		
溫飛卿 →		
溫庭筠 [おんていいん]		
か)		
海賀變哲 [かいがへんてつ]	……	8.12. 1
芥舟 →		
沈宗騫 [ちんしゅうさい]		
各務支考 [かがみしこう]	笈日記 [?]	9. 4. 1
香川景樹 [かがわかげき]	桂園一枝	M38-43?
柿本人麻呂 [かきのもとひとまろ]	萬葉集卷7	13.11.10
岳飛 [がくひ]	……	10. 8.17
夏敬渠 [かけいきょ]	野叟曝言	8. 2.23/ 9. 2.12/10. 3.26
影山直樹 [かげやまなおき]	友の話	10. 2. 1
葛西善藏 [かさいぜんぞう]	……	8.12. 5/15. 5. 1
	千人風呂	9. 4. 8
	“短篇”	14. -15.
	馬糞石	8.12. 5
	不能者	8.12. 5
	“私小説”	S2. 1. 1
峨山 [がざん]	……	9.10. 3
加治木常樹 [かじきつねき]	加治木常樹城山竈城調査筆記	7. 1. 1
柏正甫 [かしわせいほ]	稻生物怪録	1. 8. 2
何遜 [かそん]	……	15. 7. 1
片上伸 [かたがみのぶる]	……	8.12. 5
片山廣子 [かたやまひろこ]	いたずらもの [?] (翻訳)	6. 6.10
	翡翠	5. 6. 不
葛飾北斎 [かつしかほくさい]	……	9. 1.22.
勝峯晋風 [かつみねしんぷう]	年代鑑別芭蕉俳句定本	13. 5. 1
桂井未翁 [かつらいみおう]	未翁南甫句集	14. 7. 4
加藤武雄 [かとうたけお]	郷愁	8.12. 5/14. 3. 1
	みじめなる戀の話	8. 6. 4
金子薫園 [かねこくんえん]	最新代表歌選	6. 1. 1
金子洋文 [かねこようぶん]	理髮師	14. 2. 1

著 者 名	著 作 名	年・月 日
加能作次郎 [かのうさくじろう]	……	8. 5. 1
	茶碗むし	8. 6. 4
	追放	8.12. 5
	發狂前	9. 4. 8
	二つの遺稿	12. 8. 1
狩野芳涯 [かのうほうがい]	……	9. 3. 3
上司小剣 [かみつかさしょうけん]	……	5.10.11?
	愛國者	8.12. 5
	石童丸	9. 4. 8
	黒王の國	8. 6. 4/ 8.12. 5
鴨長明 [かものちょうめい]	方丈記	S2. 5. 6
川路柳虹 [かわじりゅうこう]	相	3. 4. 1
河竹黙阿彌 [かわたけもくあみ]	江戸櫻清水清玄	5. 4. 1
	御所五郎藏	12. 6. 1
	花街模様薔色縫	3. 4. 1
	船打込橋間白浪	3. 4. 1
	夢結蝶鳥追	3. 4. 1
河東碧梧桐 [かわひがしへきごとう]	……	15. 7. 1
	“句稿”	15. 7.21
	續春夏秋冬	14. 1. 1
韓偓 [かんあく]	開河記	11. 1. 1
	香奩集	9.11. 1
韓非 [かんぴ]	韓非子	9. 3.31/11. 6. 1/S2.10. 1
神崎清 [かんざききよし]	黄色評論	14. 9.29
觀潮樓主人 →		
森鷗外 [もりおうがい]		
蒲原春夫 [かんばらはるお]	大震雜記	13. 7.23
き)		
菊岡沾涼 [きくおかせんりょう]	本朝世事談綺	5. 7.18
菊池寛 [きくちかん]	……	8. 2. 5/ 9.11.20/
		13. 5. 1/S2. 4. 1
	愛嬌者	8. 1. 8
	岩見重太郎	13. 4. 1
	屋上の狂人	12. 8. 1/S2. 5.24
	恩讐の彼方に	8.12. 5/ 9.11.20/14.1.13
	我鬼	8. 5.25/13.10. 不
	菊池寛全集	11. 4. 5
	義民甚兵衛	13. 3. 1
	啓吉の誘惑	13. 8. 1
	啓吉物語	14. 9. 1

著 者 名	著 作 名	年・月 日
	極楽	9. 11. 12
	心の王國	8. 1. 8
	再論『文藝作品の内容的価値』	12. 7. 12
	里見氏の反駁に答ふ	
	坂田藤十郎の戀→藤十郎の戀	
	時感三則	8. 5. 26
	俊寛	11. 4. 1
	順番	8. 9. 22/ 8. 12. 5
	眞珠夫人	9. 11. 20/10. 3. 11
	忠直卿行狀記	14. 1. 13
	盗者被盜者	9. 4. 8
	藤十郎の戀	8. 1. 1/ 9. 11. 20/12?
	友と友の間	8. 12. 5
	文藝往来 [?]	11. 4. 5
	文藝作品の内容的価値	12. 7. 12
	まどっく博士 (まどっく先生)	8. 5. 19
	若杉裁判長	9. 4. 8
	笑ひ	13. 10. 不
	笑へるイブセン	11. 4. 5
岸田國士 [きしだくにお]	……	14. 1. 1
北尾亀男 [きたおかめお]	寶玉	14. 2. 1
北尾辰宜 → 北璿 [ほくせん]		
北原白秋 [きたはらはくしゅう]	……	7. 2. 1/11. 6. 不/ 15. 7. 1/S2. 1. 1/ S2. 6. 1
	思ひ出	S2. 4. 1
	桐の花	S2. 5. 6
	邪宗門	M43. 不. 不
	東京景物詩及其他	5. 9. 5
紀貫之 [きのつらゆき]	……	9. 6. 1
木下杢太郎 [きのしたもくたろう]	……	S2. 1. 1/S2. 4. 1
	“劇”	12. 7. 12
金九經 [きむきゅうけい]	書物禮讃	S2. 7. 8
木村幹 [きむらかん]	銀座の歸り [?]	6. 1. 2
	半処女	6. 3. 9
木村毅 [きむらき]	……	14. 8. 28
	文藝東西南北	15. 5. 30
	虫の知らせる話	9. 8. 9
木村蒹葭堂 →		
木村巽斎 [きむらそんさい]		

著 者 名	著 作 名	年・月 日
木村異斎 [きむらそんさい]	兼葭堂雑録	13. 9. 1
	兼葭堂日記 [?]	13. 8. 1
木村泰賢 [きむらたいけん]	原始佛教思想論	12. 4. 13
許渾 [きょこん]	丁卯集	M43. 7. 3/14. 5. 21
曲亭馬琴 → 瀧澤馬琴 [たきざわばきん]		
く)		
瞿佑 [くゆう]	涓塘奇遇記	10. 4. 1
	剪燈新話	2. 7. 22/ 9. 5. 28/13. 12. 29
	聯芳樓の記 [剪燈新話の篇名]	11. 1. 1
陸羯南 [くがかつなん]	……	S2. 4. 1
國木田獨歩 [くにきだどっぽ]	……	14. 1. 1/14. 2. 1/S2. 3. 1
	欺かざるの記	14. 1. 1
	畫の悲しみ	S2. 5. 1
	戀を戀する人	14. 1. 1
	號外 [?]	S2. 1. 1
	高峰の雲よ	S2. 5. 1
	沙漠の雨	S2. 5. 1
	山林に自由存す	S2. 5. 1
	鹿狩り	S2. 5. 1
	巡查	S2. 5. 1
	正直者	13. 3. 1/S2.
	少年の悲哀	S2. 5. 1
	たき火	5. 12. 2
	竹の木戸	S2. 5. 1
	非凡なる凡人	8. 12. 1/S2. 5. 1
	病牀録	S2. 5. 1
	武蔵野	2. 9. 5/S2. 5. 1
久保勘三郎 [くぼかんざぶろう]	炭鑛唄 [?]	6. 1. 2
	人買船	6. 3. 9
久保天随 [くぼてんずい]	桃花扇傳奇	11. 1. 1
久保正夫 [くほまさお]	Hermann und Dorothea (翻訳)	10. 3. 7
久保田萬太郎 [くほたまんたろう]	……	7. 12. 1/13. 6. 1/S2. 2. 1
	淺草	13. 1. 13
	淺草の喰べもの	S2. 6. 15
	薄雪双紙	5. 8. 不
	大寺學校	S2. 2. 1
	“御伽芝居”	13. 3. 1
	句集道芝	S2. 5. 1

著 者 名	著 作 名	年・月 日
	駒形より	5. 9. 不/ 5.11. 不
	三十年	14. 1. 8
	末枯	8.12. 5
	短夜	14. 1. 8
	夜鴉	S2. 2. 1
	Prologue	15. 5. 1
久保田良平 [くぼたしょうへい]	春	10. 2. 1
熊野正紹 [くまのまさあき]	長崎港草	7. 9. 1
久米邦武 [くめくにたけ]	國史八面觀	8. 3.25
久米正雄 [くめまさお]	……	6. 6.30/ 8. 8. 不/
		13. 5. 1/13. 6. 1/
		14. 8. 1/14.11. 1/
		S2. 4. 1
	エロスの戯	6. 5. 7
	牛乳屋の兄弟	14.10. 1
	銀貨	5.11. 4/ 6. 1.
	嫌疑	6. 3.15
	劔舞	15. 2. 1
	工廠裏にて	9. 4. 8
	此の諫言お用ゐなくば [?]	3. 1.29?
	此方が詫びる [?]	13. 7. 1
	此悲惨	14. 4.25
	地藏教由來	13. 6. 8
	赤光	S2. 5.24
	心中後日譚	10.12. 2
	チェーホフ小論	S2. 1. 1
	墜落を待つ	15. 2. 1
	手品師	15. 2. 1
	鐵拳制裁	6. 2. 8
	天花	15. 2. 1
	病床	10.10. 1
	復讐	6. 5. 7
	不死鳥	9.11.20
	別筵	7. 7.25
	墓參	14. 1. 8
	螢草	9.11.20
	招かれざる客	13. 1. 1
	萬年大學生	S2. 1. 1
	三浦製絲場主	8.12. 5/ 9. 2.
	密告者	6.10.30/ 6.11.

著 者 名	著 作 名	年・月 日
	山鳥	8. 12. 5
	「私」小説と「心境」小説	14. 7. 1/14. 8. 5
倉田百三 [くらたひゃくぞう]	……	13. 5. 1
	出家とその弟子	6. 7. 18/ 6. 7. 26/12. 6. 8
	俊寛	11. 4. 1/12. 6. 8
	布施太子の入山	12. 6. 8
栗島すみ子 [くりしますみこ]	新芽	13. 3. 不
	“すみ子の小唄”	13. 3. 不
	黙禱	13. 3. 不
	幼年思案	13. 3. 不
厨川白村 [くりやがわはくそん]	……	10. 3. 7
	近代の戀愛觀	13. 5. 1
黒岩涙香 [くろいわるいこう]	……	S2. 4. 1
	噫無情	14. 4. 25
黒柳召波 [くろやなぎしょうは]	……	10. 2. 19
	春泥句集	14. 9. 8
け)		
景星杓 [けいせいしゃく]	山齋客譚	11. 1. 1
景亭北 →		
景星杓 [けいせいしゃく]		
玄奘 [げんじょう]	大唐西域記	S2. 4. 30
元稹 [げんしん]	會眞詩三十韻	10. 4. 1
こ)		
小泉孤松 [芥川虚構の作家]	農家義人傳	13. 1. 1
	[芥川虚構の作品名]	
小泉鉄 [こいずみまがね]	……	5. 10. 11?
小泉八雲 [こいずみやくも]	……	9. 1. 22/12. 11. 1
	怪談	8. 4. 1
	心	8. 4. 1
	Appreciations of poetry	8. 2. 23/ 8. 4. 1
	Interpretations of literature	8. 2. 23/ 8. 4. 1
孔子 [こうし]	春秋	S2. 10. 1
	論語	3. 8. 30
高青邱 [こうせいきゅう]	“樹涼うして山意秋なり…”	9. 11. 1
	“瓊姿只合在瑤臺…”	13. 2. 1
黄庭堅 [こうていけん]	……	9. 1. 23
康白情 [こうはくじょう]	……	11. 1. 1/13. 9. 1
高明 [こうめい]	琵琶記	6. 8. 1/11. 8. 1
幸田露伴 [こうだろはん]	運命	8. 5. 1/ 9. 4. 不

著 者 名	著 作 名	年・月 日
	平将門	9. 4. 不
	ひげ男	14.10. 不
	冬の日抄	13頃
郡虎彦 [こおりとらひこ]	……	12. 6. 6
古賀煜 [こがいく]	水虎考略	S2. 3. 1
小酒井光次 →		
小酒井不木 [こさかいふぼく]		
小酒井不木 [こさかいふぼく]	……	13. 9. 25
小島烏水 [こじまうすい]	日本山水論	9. 8. 1
小島政二郎 [こじままさじろう]	……	8. 4. 21/10. 9. 20/11. 6. 2
		S2. 5. 1
	一枚繪	9. 5. 9 / 9. 6.
	一枚看板	11. 2. 1
	畫の具のやうな青い空	14. 2. 1
	沖の岩	9. 6. 25
	“お伽噺”	15. 4. 不
	「お律の子ら」評	9.12. 7
	かけおち	9. 6. 25
	「地獄變」を読む	7. 6. 18/ 7. 7. 22/ 8. 2. 5
	車掌	9.12. 7
	水滸傳	7.10. 18
	睨み合	9. 4. 26/ 9. 5.
	森の石松	8.11. 24/ 8. 1
		9. 4. 26/ 9. 5. 9
呉承恩 [ごしょうおん]	西遊記	6. 8. 1/ 8. 1. 1/ 9. 5. 不/
		9. 8. 1/S2. 4. 1
小谷保太郎	子規隨筆	14. 6. 1
[こたにやすたろう] [編]		
胡適 [こてき]	……	11. 1. 1
後藤末雄 [ごとうすえお]	ブルウ ド スイフの典型	M43.7? 不
	& 批評	
近衛 [このえ]	具注歴	S2. 7. 1
小林一茶 [こばやし いっさ]	……	9. 6. 1/S2. 4. 1
	“一茶句集”	11. 1. 不/14.10. 9
小林直太郎 [こばやしなおたろう]		9. 1. 18
小宮豊隆 [こみやとよたか]	芭蕉俳句研究	12.11.10
	“「法難」の批評”	9. 3. 8
今東光 [こんとうこう]	放言 2月瀝	12. 3. 1
近藤經一 [こんどうけいいち]	……	8.12. 5

著 者 名	著 作 名	年・月 日
さ)		
崔顥 [さいこう]	黄鶴楼	13. 5. 1
西行 [さいぎょう]	……	9. 6. 1
	山家集	M43?
載叔倫 [さいしゃくりん]	……	S2. 5. 6
西條八十 [さいじょうやそ]	海にて	3. 4. 1
	砂金	8.12. 5
齋藤貞吉 [さいとうていきち]	……	10.10.10
齋藤茂吉 [さいとうもきち]	……	7. 2. 1/ 8.12. 5/ 9. 6. 1/ 14.12.31/S2. 5. 6
	朝の螢	14. 5.21
	あらたま	10. 1. 6/11. 1.13/ 13. 3. 1/14. 8. 1
	おひろ (「赤光」の内)	13. 3. 1
	口ぶえ (「赤光」の内)	13. 3. 1
	死にたまふ母 (「赤光」の内)	13. 3. 1
	島木赤彦臨終記	15.10.10
	赤光	13. 3. 1/S2. 1. 1/ S2. 4. 1/S2.10. 1
	短歌私鈔	9. 1. 9
	短歌に於ける寫生の説	9. 9.12
	童馬山房雑歌	14. 8.26
	童馬山房漫筆	14. 5.21/14. 7. 4
	童馬漫語	8.11. 9/ 8.12. 1/ 8.12.22/14. 4. 3
	南蠻男 (「赤光」の内)	S2. 1. 1
	乾草 (「あらたま」の内)	13. 3. 1
	八十吉 [?]	14.10.27
斎藤緑雨 [さいとうりょくう]	……	9. 2. 4/S2. 5. 6/ S2. 6. 1
	雨蛙	14.10. 不
	あられ酒	9. 8. 1/S2. 9.15
	新體詩見本	14.11. 8
	みだれ箱	14.10. 不
境野黄洋 [さかいのこうよう]	……	6. 5. 7
坂本四方太 [さかもとしほうだ]	……	S2. 4. 1
	向島	14.11. 8
佐久間柳居 [さくまりゅうきょ]	“芭蕉七部集”	12.11.10
佐佐木信綱 [ささきのぶつな]	心の花	7. 2. 1
ささきふさ [ささきふさ]	着服の仕儀	14. 7.31

著 者 名	著 作 名	年・月 日
佐佐木味津三 [ささきみつぞう]	……	13. 4. 1
	猥談	12. 3. 1
佐佐木茂索 [ささきもさく]	……	9. 6. 15/ 9. 11. 20/10. 10. 9
	哀懷	10. 11. 25
	青きを踏む	15. 1. 20/15. 2. 1
	ある死, 次の死	10. 4. 26/10. 11. 25
	或日歩く	14. 9. 1
	或夜の強者弱者	15. 2. 1
	おちいさんとおばあさんの話	8. 7. 29/ 8. 11. 18
	女の手紙	8. 7. 29
	巻舒	10. 12. 2
	散歩	15. 10. 29
	翅鳥	9. 6. 15/10. 1
	手	8. 7. 29
	讀脣難	15. 9. 22
	春の外套	13. 11. 20/13. 12. 1/ 15. 6. 1/15. 7. 29
	ピュリタンの塊莖	8. 7. 29
	ふるさとびと	15. 1. 20/15. 2. 1
	亡びる	15. 9. 22
	マキュラに就て	8. 7. 29
	無響頭	15. 2. 1
	……	9. 11. 20
	萎びた林檎	8. 12. 5
佐藤惣之助 [さとうそうのすけ]	白鷺	13. 1. 13
	琉球諸島風物詩集	14. 6. 1
佐藤春夫 [さとうはるお]	……	13. 5. 1/13. 11. 2/S2. 4. 1
	或晩に	8. 6. 4
	一情景	12. 8. 1
	海邊の望樓	8. 12. 5
	圓光	6. 4. 5
	お絹とその兄弟	8. 5. 1/ 8. 12. 5/12? / 14. 1. 13
	彼者誰	14. 1. 8
	琴唄	S2. 1. 1
	秋刀魚の歌	S2. 1. 1
	指紋	7. 7. 25/ 8. 9. 13/ 9. 2. 25
	殉情詩集	13. 3. 1
	人生悲劇 (翻訳)	6. 3. 9
	神話	6. 6. 10

著 者 名	著 作 名	年・月 日
里見弾 [さとみとん]	西班牙犬の家	6. 1. 2/ 6. 4. 5/S2. 6. 1
	田園の憂鬱	6. 6. 10/ 8. 5. 1/ 8. 6. 4/ 8.12. 5/S2頃?
	時計のいたづら	14. 1. 8
	南方紀行	11. 4.23
	批評の渤興	S2. 6. 1
	窓展く	14. 1. 8
	佗しすぎる	14. 1.13
	……	8.12. 5/13. 5. 1/ S2. 4. 1
	甘酒	11. 2.15
	或悪傾向を排す	7.11. 1
	失はれた原稿	6. 1.19
	縁談糞	15. 2.12
	活辯と思はれる	9. 4. 8
	蚊遣り	14.10. 1
	菊池寛氏の『文藝作品の内容 的価値』を駁す	12. 7.12
	桐畑	11. 1. 1
	刑事の家	7. 7.25
	今年竹	8.11.13/ 8.12. 5/ 9.11.20
	石門の奥に	14. 1. 8
	其の人	15. 2. 1
	大道無門	S2頃/S2. 5.
	多情佛心	S2頃
	玉は碎けず	12.11. 1
	強氣弱氣	8.12. 5
	毒蕈	11. 7.30
	文藝の職業化	13. 7. 1
	満潮	15. 2.12
	夜櫻	9. 4. 8
	私は見た	S2. 2. 1
佐野文夫 [さのふみお]	生を與ふる神	3. 1.29?
山宮允 [さんぐうまこと]	イエイツ詩抄 [?]	14. 3.24
	現代英詩鈔	6. 2.17
	詩歌の象徴	3. 4. 1
	知見の塔	3. 4. 1
	本質美の表現としての象徴	3. 1.29?
山谷 → 黄庭堅 [こうていけん]		
三汀 → 久米正雄 [くめまさお]		

著 者 名	著 作 名	年・月 日
し)		
而愠齋 →		
山岡元隣 [やまおかげんりん]		
志賀直哉 [しがなおや]	……	5. 8. 1/15. 6. 14/S2. 6. 1
	赤西蛸太の戀	11. 4. 1
	雨蛙	14. 2. 1
	憐れな男	15頃/S2. 2. 1/S2. 4. 1/
	暗夜行路	11. 1. 1/15頃/S2. 2. 1/ S2. 4. 1/S2. 10. 1
	イツク川	9. 10. 25
	大津順吉	3?
	弟の歸京	15. 2. 1
	彼と六つ上の女	3?/S2. 4. 1
	鵠沼行	15頃/S2. 4.
	黒犬	14. 1. 8
	小僧の神様	9. 7. 1
	子供四題	15頃
	兒を盗む話	3?/15頃/S2. 4. 1
	佐々木の場合	S2. 4. 1
	瑣事	14. 9. 16
	“自叙傳的小説”	S2頃
	十一月三日午後の事	8. 12. 5
	小品五つ	6. 7. 26
	正義派	3?
	焚火 (山の生活にて)	9. 4. 8/15頃/S2. 4. 1
	留女	5. 10. 11?/ 6. 8. 1/ 8. 1. 1
	鳥尾の病氣	3?
	濁った頭	3?/S2. 2. 1
	二十代一面	S2. 4. 1
	鵠	15. 2. 1
	范の犯罪	3?/S2. 4. 1
	不幸なる戀の話	3?
	冬の往来	14. 1. 8
	濠端の住まひ	14. 1. 8
	眞鶴	S2. 4. 1
	百舌	15. 2. 1
	山科の記憶	15. 2. 1
	雪の日	15頃
	流行感冒と石	8. 12. 5

著 者 名	著 作 名	年・月 日
	老人	3?
	和解	6.10. 4/ 6.10.12
式亭三馬 [しきていさんば]	……	6. 8. 1/ 8. 1. 1
	浮世風呂	6.10-11
	大千世界樂屋探し	9. 1.27
	稗史臆説年代記	5頃
施耐庵 [したいあん]	水滸傳	6. 8. 1/ 7. 5. 1/ 8. 1. 1/ 9. 8. 1/11. 1. 1/11. 5. 1
十返舎一九 [じっぺんしゃいっく]	……	6. 8. 1/ 8. 1. 1
司馬遷 [しばせん]	史記	14. 2. 1
島本赤彦 [しまぎあかひこ]	……	8.12. 5
	歌道小見	14. 4. 3
	くさぐさの歌	14. 8. 1
	太虚集	14. 2.28/14. 8. 1
	太平洋會議	14. 8. 1
島崎藤村 [しまざきとうそん]	……	S2. 5. 1
	齋藤先生	9. 4. 8
	“詩”	6. 8. 1
	新生	8. 5. 1/ 8.12. 5/S2.10. 1
	破戒	2. 8.12/12. 7.12
島田清次郎 [しまだせいじろう]	地上	8.12. 5 /S2. 5.24
下島勲 [しもじまいさおし]	井月の句集	10.10.25
釈道世 [しゃくどうせい]	法苑珠林	S2. 4.30
謝枋得 [しゃほうとく]	文章軌範	10. 8.17
子游 [しゅう]	急就章	12. 3. 1
秋風嶺 [しゅうふうれい]	文藝時評時感	7.11. 1
祝允明 [しゅくいんめい]	……	12. 3. 1
章炳麟 [しょうへいりん]	愈先生傳	11. 1. 1
徐渤 [じょぼつ]	筆精	12. 3. 1
少陵 → 杜甫 [とほ]		
諸葛亮 [しょかつりょう]	……	10. 8.17
	出師表	M41. 不. 不
静観房好阿	當世百物語	3. 6. 1
[じょうかんぼうこうあ]		
東海林辰三郎	支那仙人列傳	S2. 2. 3
[しょうじたつさぶろう]		
白柳秀湖 [しらやなぎしゅうこ]	……	S2. 3. 1
	声なきに聴く	S2. 4. 1
	離愁	15.12. 1
新城和一 [しんじょうわいち]	瞳と心	3. 4. 1

著 者 名	著 作 名	年・月 日
新村出 [しんむらいずる]	“巴毗弁に関する論文”	7. 11. 1
	天草出版の平家物語抜書及び 其の編者について	7. 11. 1
鈴木正三 [すずきしょうさん]	二人比丘尼	9. 2. 2
	破吉利支丹	9. 2. 2
鈴木善太郎 [すずきぜんたろう]	幻想	7. 9. 不
鈴木三重吉 [すずきみえきち]	……	5. 10. 11 ? / 7. 6. 18
	“御伽噺”	7. 10. 18
	お三津さん	1. 7. 30
	返らぬ日	1. 7. 30
	桑の實	2. 8. 16/14. 5. 13
	小鳥の巢	1. 7. 30/ 8. 12. 5/14. 5. 13
	千代紙	1. 7. 30
薄田泣菫 [すずきだきゅうきん]	ああ大和にしあらましかば	6. 10. 27?/14. 4. 26
	天馳使の歌	14. 4. 26
	葛城の神	6. 10. 27 ? /14. 4. 26
	泣菫詩集	14. 4. 26
	泣菫文集	7. 7. 22/15. 5. 30
	茶話	7. 5. 7/13. 11. 24/14. 4. 26
	新茶話	8. 6. - 8. 7 ?
	象牙の塔	13. 11. 24
	二十五絃	13. 11. 24/14. 4. 26
	白羊宮	14. 4. 26
	花密藏難見	14. 4. 26
	望郷の歌	14. 4. 26
	暮笛集	14. 4. 26
	ゆく春	14. 4. 26
	雷神の歌 (雷神の夢)	6. 10. 27 ? /14. 4. 26
須藤鐘一 [すどうしょういち]	……	8. 12. 5
	廃倉の病者	8. 6. 4
せ)		
清少納言 [せいしょうなごん]	枕草子	M44. 5. 20/ 9. 11. 8/ 12. -14. /13. 4. 1/14. 7. 1
青蓮 → 李白 [りはく]		
関口次郎 [せきぐちじろう]	……	9. 11. 20
石埭翁 →		
永坂石埭 [ながさかせきたい]		
雪竇 [せっちょう]	碧巖錄	15. 8. 9/S2頃
瀬戸虎記 [せととらき]	……	2. 12. 3
千家元麿 [せんげもとまろ]	虹	8. 12. 5

著 者 名	著 作 名	年・月 日
そ)		
蘇軾 [そしよく]	……	9. 1.23/12. 3. 1
蘇軾中 → 蘇軾 [そしよく]		
曹雪芹 → 曹霑 [そうてん]		
曹霑 [そうてん]	紅樓夢	11. 1. 1/S2. 4. 1
相馬御風 [そうまぎょふう] [編]	良寛和尚詩歌集	8. 9. 9
相馬泰三 [そうまたいぞう]	……	8.12. 5
	さよ子	8. 6. 4
僧無己 → 陳師道 [ちんしどう]		
孫過庭 [そんかてい]	……	9.10. 5
孫君澤 [そんくんたく]	……	9.11. 1
	“詩”	11. 1. 1
孫子瀟 →		
孫君澤 [そんくんたく]		
た)		
高井几董 [たかいきとう]	……	8.10.15/10. 2.19
	晋明集	13. 5.14
	續晋明集	13. 7.21
	蕪村句集	9. 9.12/12. 3. 1/12.11.10/ 14. 9.8/14.11.25/S2. 5. 6
高木 [たかぎ] (不詳)	“紀行”	10. 8.17
高木敏雄 [たかぎとしお]	比較神話學	5.11. 1
高田浪吉 [たかだなみきち]	“歌”	S2. 4. 1
多賀中尉 [たがちゅうい]	家庭軍事談	11. 1. 1
高濱虚子 [たかはまきよし]	……	7. 不. 不
	斑鳩物語	M43. 4.18
	落葉降る下にて	9. 1. 1
	十五代將軍	12. 4.14
	續風流懺法	8. 5.22
	朝鮮	9. 1. 1
	俳諧師	9. 1. 1/S2. 2. 1/ S2. 4. 1
	風流懺法後日譚	8. 2.12
高山樗牛 [たかやまちょぎゅう]	……	M42. 3. 6/ 9. 9.12
	光陰誌行	M41. 8. 3?
	“近松論”	S2. 5. 1
	樗牛全集 全5巻	8. 1. 1
	平家雜感	9. 8. 1
	無題錄	S2. 4. 1

著 者 名	著 作 名	年・月 日
宝井其角 [たからいきかく]	わが袖の説	8. 1. 1
	……	14. 9. 25
	俳諧錦繡段	9. 4. 16
	芭蕉翁終焉記	9. 4. 1
	次韻	13頃
瀧井孝作 [たきいこうさく]	虚栗	13頃/13. 5. 1/13. 7. 1
	……	9. 11. 20
	妹の問題	11. 5. 26
	良人の貞操 [?]	10. 8. 24
	弟	8. 8. 25
	ゲテモノ	14. 9. 16/14. 10. 1/14. 10. 11
	祖父	9. 6. 3/ 9. 8. 9
	旅 [?]	9. 2. 10
	父	15. 6. 14
	無限抱擁	13. 10. 8
	養子	15. 6. 14
	“私小説”	S2. 1. 1
	瀧井折柴 →	
	瀧井孝作 [たきいこうさく]	
瀧澤馬琴 [たきざわばきん]	……	6. 8. 1/ 8. 1. 1/12?
	燕石雑誌	8. 7. 8/S2. 7. 1
	里見八犬傳 →	
	南総里見八犬傳	
	朝夷巡島記	6. 10-11
	南総里見八犬傳	6. 3. 11/ 6. 8. 1/ 6. 10-11/ 6. 10. 1/ 8. 1. 1/11. 1. 1 13. 10. 不/14. 9. 1
	俳諧歳事記	11. 1. 13
	夢想兵衛胡蝶物語	8. 12. 1
	函嶺紀行	9. 5. 9/ 9. 5. 11
	黄蜂と花粉	15. 2. 23
	……	11. 1. 1
	竹友藻風 [たけともそうふう]	
	竹中郁 [たけなかいく]	
	武林夢想庵	
建部綾足 [たけべあやたり]	[たけばやしむそうあん]	
	本朝水滸傳	11. 1. 1
	孝子傳吉物語 [芥川の虚構の 作品]	13. 1. 1
	旅硯 [芥川の虚構の作品]	13. 1. 1
田中純 [たなかじゅん]	……	9. 11. 20
	知慧の果	8. 1. 12

著 者 名	著 作 名	年・月 日
谷崎潤一郎	……	7. 1. 1/ 9. 6. 1/S2. 4. 1
[たにざきじゅんいちろう]		
	愛すればこそ	S2. 4. 1
	悪魔	S2. 1. 1
	薨	S2. 2. 1
	或少年の恐れ	8.12. 5
	お艶殺し	8. 1. 1
	お才と巳之助	8. 1. 1
	麒麟	S2. 2. 1/S2. 4. 1
	金と銀	7. 7.25
	九月一日前後のこと	S2. 2. 1
	鮫人	9. 4. 9
	刺青	8. 1. 1/ 8.12. 5/S2. 4. 1
	秋風	8.11.18
	饒舌録	S2. 2.15/S2. 6. 1
	神童	8. 1. 1
	秦淮の夜	9. 7. 1
	青磁色の女	8. 6. 4
	蘇州紀行	11. 1. 1
	小さな王國	S2. 4. 1
	日本に於けるクリツプン事件	S2. 2. 1/S2. 4. 1
	人魚の嘆き	6. 1.19/ 8.10. 1/ 14. 3.17/S2. 4. 1
	美食倶楽部	8. 6. 4
	天鵲絨の夢	10. 8.17/11. 1. 1
	二人の藝術家の話	7. 7.25
	二人の稚兒	8. 5.22
	魔術師	6. 1.19/ 8.10. 1
	世之助の話	7. 3. 7
谷崎精二 [たにざきせいじ]	……	8.12. 5
	嗣郎夫妻	8. 6. 4
谷森饒男 [たにもりにぎお]	……	5. 6.29?
田能村竹田 [たのむらちくでん]	……	14. 7. 1
	百活矣	13. 2. 1
田山花袋 [たやまかたい]	……	8.12. 5/14. 1. 1/S2. 5. 1
	田舎教師	8. 1. 1/ 8.12. 5
	河ぞひの春	8.12. 5
	萎れた草	8. 6. 4
	白い鳥	8.12. 5
	妻	8. 1. 1/ 8.12. 5

著 者 名	著 作 名	年・月 日
	源義朝	14. 5. 1
	弓子	8.12. 5
	禮拜	6. 1.19
炭太祇 [たんたいぎ]	……	15頃
ち)		
近松秋江 [ちかまつしゅうこう]	舊痕	S2. 2. 1
	秋江隨筆	15. 5.20
	女難	6. 1.19
	近松秋江集 (現代小説全集)	15. 5.20
	無明	S2. 2. 1
	燐を飲んで死んだ男	15. 5.20
	別れたる妻に送る手紙	15. 5.20
近松門左衛門	……	6. 8. 1 / 8. 1. 1/
[ちかまつもんざえもん]		14. 7. 1/14.11. 1/
		S2. 5. 1/S2.12. 1
	女殺油地獄	8. 2. ? / 8. 5. 1/13. 3. 1
	國姓爺合戦	14. 4. 1/S2. 5. 1
	“浄瑠璃 (集)”	8. 5. 1/14. 4.25
	心中天網島	S2. 5. 1/S2. 9.15
	曾根崎心中	11頃
	大經師昔暦	14. 1.13
	長町女腹切 [?]	M44. 3.14
	日本振袖始	S2. 5. 1
	平家女護が島	11. 4. 1
	鍵の権三重帷子	14. 5.15/15. 5. 1
遅月庵空阿 [ちげつあんくうあ]	俳諧水滸傳	13頃
遅塚麗水 [ちずかれいすい]	……	S2. 4. 1
中條百合子 [ちゅうじょうゆりこ]	伸子	14. 9.16
	日は輝けり	6. 1.19
	貧しき人人の群	6. 1.19
趙甌北 → 趙翼 [ちょうよく]		
張鷟 [ちょうさく]	遊仙窟	45. 7.20
張潮 [ちょうちょう]	虞初新誌	2. 7.22
蝶夢 [ちょうむ]	蕉門古人真蹟集	15頃
趙翼 [ちょうよく]	簷曝雜記	12. 不. 不
	甌北詩集 [?]	9.11. 1
	吳門雜誌	9. 2.11
	山塘の詩	9. 2.11
	通臂猿	7. 5. 1
	論詩	12. 7. 1

著 者 名	著 作 名	年・月 日
沈芥舟 → 沈宗騫		
陳師道 [ちんしどう]	……	9. 11. 1
陳壽 [ちんじゅ]	三國志	6. 9. 1
沈宗騫 [ちんしゅうさい]	芥舟學畫編	9. 10. 6/14. 4. 3/S2. 6. 1
陳森 [ちんしん]	品花寶鑑	9. 2. 12/10. 8. 17/S2. 4. 1
つ)		
辻聴花 [つじちょうか]	支那芝居 [?] “中國劇”	10. 9. 30/14. 6. 1 14. 6. 1
土井晩翠 →		
土井晩翠 [どいばんすい]		
土屋文明 [つちやぶんめい]	山上相聞	14. 10. 1
	白楊歌	14. 10. 1
	ふゆくさ	14. 2. 28/14. 9. 7/14. 10. 1
恒藤恭 [つねとうきょう]	……	9. 4. 28/10. 9. 30
角田竹冷 [つのだちくれい]	竹冷句鈔 [?]	12. 3. 15
坪内逍遙 [つぽうちしょうよう]	……	14. 10. 不
	名殘星月夜	6. 6. 30
	“「幽霊」の解説”	8. 10. 8
鶴屋南北 [四世] [つるやなんぼく]	東海道四谷怪談	12. 6. 1
て)		
鄭環古 [ていかんこ]	杜子春傳、	9. 7. 1/S2. 2. 3
鄭孝胥 [ていこうしょ]	海藏樓詩集	10. 8. 17/11. 5. 11
鄭板橋 [ていばんきょう]	橄欖軒	6. 7. 12
寺島良安 [てらしまりょうあん]	和漢三才圖會	9. 2. 24/11. 8. 13
と)		
土居光知 [どいこうち]	日本文學を通じて見たる文化 の展開 [?]	9. 5. 23
土井晩翠 [どいばんすい]	天地有情	6. 8. 1
陶淵明 [とうえんめい]	草盛豆苗稀	2. 8. 16
	桃花源記	9. 3. 26
東坡 → 蘇軾 [そしよく]		
土岐哀果 →		
土岐善麿 [ときぜんまろ]		
土岐善麿 [ときぜんまろ]	佇みて	2. 12. 30/12. 5. 1
徳田秋聲 [とくだしゅうせい]	……	5. 10. 11?/ 9. 11. 20/14. -15. /14. 7. 1/15. 5. 1/S2. 4. 1
	あらくれ	8. 12. 5
	或些やかな恥	9. 4. 8

著 者 名	著 作 名	年・月 日
徳富蘇峰 [とくとみそほう]	……	S2. 4. 1
	織田氏時代上下篇	15. 1. 16/15. 2. 8
	(近世日本國民史)	
	近世日本國民史	15. 1. 16/15. 1. 21/ 15. 2. 8/15. 2. 15
	支那漫遊記	11. 1. 1
	豊臣氏時代(近世日本國民史)	15. 1. 21/15. 2. 8
徳富蘆花 [とくとみろか]	……	7. 5. 1
	思ひ出の記	M37. 7. 28/ 6. 8. 1/ 8. 1. 1
	自然と人生	6. 8. 1/ 8. 1. 1/ 9. 8. 1/ 11. 1. 1/14. 1. 1/S2. 5. 1
	みみずのたはごと	2. 7. 30
	“明治の基督教文學”	S2. 1. 1
	信貴山縁起	10. 3. 1
[鳥羽僧正] [とばそうじょう]		
杜少陵 → 杜甫 [とほ]		
杜甫 [とほ]	……	M43. 7. 3/10. 8. 17/13頃
	飲中八仙歌	S2. 5. 1
	秋野五首	9. 11. 1
	前出塞	S2. 4. 1
	杜少陵詩集	10. 8. 17
	遺懷	9. 11. 1
杜牧 [とほく]		
富田碎花 [とみたさいか]	草の葉(翻訳)	8. 6. 8
友常幸一 [ともつねこういち]	……	9. 1. 20
朝永三十郎	近世に於ける「我」の自覺史	13. 10. 不
[ともながさんじゅうろう]		
豊島與志雄 [とよしまよしお]		8. 12. 5
	恩人	14. 10. 1
	湖水と彼等	3. 1. 29?
	褪紅色の珠	7. 5. 1
	玉突場の一隅	7. 5. 1
	非常線	8. 6. 4
な)		
内藤丈草 [ないとうじょうそう]	……	15頃
	丈艸集	14. 1. 1
	丈艸発句集	15. 10. 1
内藤鳴雪 [ないとうめいせつ]	……	7. 不. 不
直木三十五 [なおきさんじゅうご]	大衆文藝新作仇討全集第一卷	14. 11. 24

著 者 名	著 作 名	年・月 日
直木三十三 →		
直木三十五 [なおきさんじゅうご]		
永井荷風 [ながいかふう]	……	M45. 4.13/ 9. 2.11/ 14. 7. 1
	すみだ川	M44. 3.14?/ 5. 8. 9?
	断腸亭雜藁	13. 1. 6
	夏姿	5. 8. 1
	日本の庭	13. 2. 1
	日和下駄	8. 5. 1/11. 8. 1
	仏蘭西物語	13. 5.15
	名花	5. 8. 9?
	冷笑	M43. 6.22/M43. 7?/ 8.12. 5/ 9.10. 6
永井徹 [ながいてつ]	各國演劇史	9. 2.14/11. 1. 1
中江兆民 [なかえちょうみん]	一年有半	15. 2. 1
永坂石埭 [ながさかせきたい]	……	4. 8. 不
中里介山 [なかざとかいざん]	大菩薩峠	13. 5. 1/S2. 1. 1
長田勝郎 [ながたかつろう]	犬に噛まれる	10. 2. 1
長田秀雄 [ながたひでお]	大佛開眼	9. 4. 8
長田幹彦 [ながたみきひこ]	……	8.12. 5/ 9.11.20
	海月寺	6. 1.19
	祇園夜話	3. 4.21
中塚一碧樓	……	15. 7. 1
[なかつかいっぺきろう]	我等の句境	8. 6.21
長塚節 [ながつかたかし]	……	9. 9.13
	山鳥の渡し	11. 3.31
中戸川吉二 [なかとがわきちじ]	……	8. 2. 1/ 9. 5. 9
	イボタの蟲	8. 6. 4/ 8. 6.15/ 8.12. 5
	北村十吉	11.12.27
	失策	12. 6. 5
	反射する心	9. 1.17/10. 2.15
中野重治 [なかのしげはる]	郷土望景詩に現れた憤怒に ついて “詩”	S2. 1. 1 15.12. 5/S2. 1. 1
中村吉蔵 [なかむらきちぞう]	井伊大老の死	9. 4. 8/ 9.11.20
中村憲吉 [なかむらけんきち]	柵	14. 5.21
中村星湖 [なかむらせいこ]	……	8.12. 5/S2. 5. 1
	お歌さんの幻影	6. 1.19
中村武羅夫 [なかむらむらお]	随筆流行の事	13. 4. 1
長與善郎 [ながよよしろう]	……	5.10.11?/ 8.11.18

著 者 名	著 作 名	年・月 日
	哀れな少女	6.10. 4
	兎〔?〕	12. 8. 1
	小母のいたづら	12. 8. 1
	小さき幸福	6.10. 4
	私の甥	12. 8. 1
夏目漱石〔なつめそうせき〕	……	5. 8. 1/ 6. 8. 1/ 8. 1. 1/ 14. 7. 1/14. 8. 1/ S2. 4. 1/S2.10. 1
	永日小品（暖かい夢）	7. 5. 1/13.11.30
	薤露行	9. 7.23
	硝子戸の中	13. 4. 1
	草合せ	S2. 5.21
	草枕	8. 1. 1/ 9. 7.23
	虞美人草	8. 1. 1/ 9. 7.23/ S2. 1. 1
	幻影の盾〔?〕	9. 6.24
	行人	S2. 4. 1
	坑夫	S2. 5.21
	“漱石近什”	M43. 6.22
	それから	10. 1.20/S2. 4. 1
	彼岸過迄	13. 1.13/S2. 5.21
	文學評論	4.12.21?
	文學論	4.12.21?
	坊ちゃん	13.11.10/S2. 5.21
	道草	S2. 4. 1
	明暗	5.10.11?/S2. 4. 1/ S2. 5.21
	門	S2. 4. 1
	夢十夜	10. 1.20
	吾輩は猫である	9. 7.23/ 9. 8. 1/13.11.10
鍋井克之〔なべいかつゆき〕	心の蟲	9. 4. 8
成島柳北〔なるしまりゅうほく〕	大和魂	9. 4. 1
成瀬正一〔なるせせいいち〕	骨ざらし	5. 3.24
南部修太郎〔なんぶしゅうたろう〕	縁なき衆生	9. 5. 9
	霧	8.10. 8
	疑惑	9. 4. 8
	黒焦げ人形	8. 7. 8
	湖水の上	9. 8. 9
	蟀谷のきず跡	8. 6. 4/ 8. 6. 6/ 8.12. 5
	死神	9. 3.11

著 者 名	著 作 名	年・月 日
	修道院の秋	9. 2. 27
	少年の日	8. 6. 4/ 8. 6. 6
	接吻	10. 11. 16
	“転換期にある藝術”	9. 6. 5
	図書館裏の丘 [?]	9. 5. 18
	夏の旅と自分	9. 8. 9/ 9. 8. 17
	猫又先生	8. 12. 5
	星かげ	9. 3. 11
	夜行列車の客	7. 9. 3
に)		
西田幾多郎 [にしだきたろう]	自覺に於ける直觀と反省	6. 10. 30/ 8. 4. 不
西宮藤朝 [にしのみやふじとも]	……	8. 12. 5
	家庭生活の諸相	10. 3. 1
西村陽吉 [にしむらようきち]	……	7. 2. 1
任翻 [にんはん]	……	9. 2. 26/13. 11. 30
ぬ)		
沼波瓊音 [ぬなみけいおん]	芭蕉の臨終	9. 4. 1
の)		
野上豊一郎 [のがみとよいちろう]	……	7. 10. 18
野上彌生子 [のがみやえこ]	……	13. 5. 1
野口寧斎 [のぐちねいさい]	讀罪與罰上篇	9. 5. 27
野口米次郎 [のぐちよねじろう]	……	12. 6. 6
野沢凡兆 [のざわぼんちょう]	……	8. 10. 15/15頃
	猿蓑	9. 7. 11/14. 1. 1
野田別天樓 [のだべってんろう]	丈艸集	14. 1. 1
昇曙夢 [のぼりしょむ]	現代ロシア六人集	M43. 6. 22
は)		
俳諧寺一茶 →		
小林一茶 [こばやし いっさ]		
灰野庄平 [はいのしょうへい]	見不可見	3. 4. 1
	緑にゆるゝ空へ	3. 4. 1
萩原朔太郎 [はぎわらさくたろう]	青猫	S2. 1. 1
	新らしき欲情	S2. 1. 1
	純情小曲集	S2. 1. 1
	中央亭騒動事件	15. 5. 29
	月に吠える	S2. 1. 1
白居易 [はくきょい]	琵琶行	8. 1. 1/10. 8. 17

著 者 名	著 作 名	年・月 日
白樂天 → 白居易 [はくきょい]		
長谷川天溪 [はせがわてんけい]	現實暴露の悲哀	8.12. 5
長谷川如是閑 [はせがわにょぜかん]	額の男	S2. 6. 1
畑耕一 [はたこういち]	笑ひきれぬ話	14.10.10
秦豊吉 [はたとよきち]	……	6.10.27? / S2. 6. 1
	文藝趣味	13. 5.15
服部土芳 [はっとりどほう]	三冊子	12.11.10
服部嘉香 [はっとりよしか]	落ちゆく地平	3. 4. 1
	雪の日	3. 4. 1
早川孝太郎 [はやかわこうたろう]	猪・鹿・狸	5.12. 6
	三州横山話	13. 3. 1
原石鼎 [はらせきてい]	……	7. 不. 不
盤察 [ばんさつ]	説教因縁除睡鈔	14. 9. 1
范成大 [はんせいだい]	田園詩集	3. 夏.
范石湖 →		
范成大 [はんせいだい]		
半田良平 [はんだりょうへい]	洲の崎のおやゑ	6.11. 1
ひ)		
樋口功 [ひぐちいさお]	芭蕉研究	13頃/13. 7. 1
樋口一葉 [ひぐちいちよう]	……	14. 7. 1/14.10. 不
	一葉日記	13.10. 1
	たけくらべ	12.12. 1/14.10. 不
	にぎりゑ	14.10. 不
	みづの上	14.11. 8
日夏耿之介 [ひなつこうのすけ]	……	13. 6. 1
平木二六 [ひらきにろく]	若冠	14. 7. 1
平田篤胤 [ひらたあつたね]	稻生物怪録卷之1 [?]	7. 5. 1
	古今妖魅考 [?]	1. 8. 2
平田禿木 [ひらたとくぼく]	世界名作大観	14. 4?
広瀬惟然 [ひろせいぜん]	……	S2. 8. 1
	續猿蓑	14. 1. 1
広津和郎 [ひろつかずお]	……	8.12. 5
	お光	8.12. 5
	“君の月評(報知新聞)”	15.10.17
	三人の患者	9. 4. 8
	死児を抱いて	8.12. 5
	転落する石	8. 6. 4
広津柳浪 [ひろつりゅうろう]	雨	S2. 2. 1

著 者 名	著 作 名	年・月 日
広野仲助 [編] [ひろのちゅうすけ]	芭蕉翁行脚怪談袋	13頃
ふ)		
福士幸次郎 [ふくしこうじろう]	……	S2. 5. 1
福田正夫 [ふくだまさお]	……	9.11.20
福田雅之助 [ふくだまさのすけ]	最近の米國庭球界	13. 3. 1
福地桜痴 [ふくちおうち]	……	14.10. 不
福永挽歌 [ふくながばんか]	……	S2. 4. 1
藤澤清造 [ふじさわせいぞう]	……	14. 8. 5
	一夜	12. 8. 1
	根津權現裏	14.12.16
藤野古白 [ふじのこはく]	……	11.12. 1
藤森淳三 [ふじもりじゅんぞう]	宇野浩二論	12. 3. 1
藤森成吉 [ふじもりせいきち]	馬の足	S2. 2.17
	蛙	8. 6. 4/ 8.10. 1
	舊先生	8.12. 5
	盗人	9. 4. 8
	無心	12. 8. 1
	山	8. 6. 4
二葉亭四迷 [ふたばていしめい]	……	S2. 5. 1
舟木重信 [ふなきしげのぶ]	悲しい夜	8. 6. 2/ 8.12. 5
	煙	9. 4. 8
文暁 [ぶんぎょう]	花屋日記	7.10. 1/ 9. 4. 1/12.11.10
ほ)		
方岳 [ほうがく]	方秋崖詩鈔	8. 6.24
房玄齡 [ぼうげんれい]	晉書禮記	13. 3. 1/14. 6.17
抱甕老人 [ほうおうろうじん]	今古奇觀	11. 1. 1/11. 10. 1
方秋崖 → 方岳 [ほうがく]		
北磻 [ほくせん]	古今實物語	3. 6. 1
北宋人 [ほくそうじん]	迷樓記	11. 1. 1
墨浪子 [ほくろうし]	西湖佳話	11. 1. 1
蒲松齡 [ほしょうれい]	聊齋志異	M41. 8.11/ 5. 6. 不/ 7. 5. 1/ 9. 1. 1/ 9. 5.28/10. 8.17
細田源吉 [ほそだげんきち]	……	9.11.20
細田民樹 [ほそだたみき]	……	9.11.20
	極みなき破局	9. 4. 8
堀田麦水 →		
堀麦水 [ほりばくすい]		

著 者 名	著 作 名	年・月 日
堀辰雄 [ほりたつお]	街角	12.10.18
	ルウベンスの偽畫 [?]	S2. 2.11
堀麦水 [ほりばくすい]	三州奇談	2. 7.19
堀口九萬一 [ほりぐちくまいち]	雪さん	S2. 5. 1
堀口大學 [ほりぐちだいがく]	颶風	15.11. 不
	“トルストイに関する一章”	14.11.26
本間久雄 [ほんまひさお]	モリス論	6. 5. 7
	浪漫主義が現實主義か	7.11. 1
ま)		
前田夕暮 [まえだゆうぐれ]	……	7. 2. 1
牧雄吉 [まきゆうきち]	……	9. 1.18/ 9.12.18
牧野信一 [まきのしんいち]	F村での春	S2. 2. 1
正岡子規 [まさおかしき]	……	14.10. 不/15. 7. 1/ S2. 4. 1
	歌よみに與ふる書	7. 不. 不/14. 4. 3/ 15. 2. 1
	寒山落木	8.10.15/ 9. 1. 1
	子規句集	M42. 8. 8
	子規隨筆	14. 6. 1
	子規全集 第5卷	15. 2. 1
	竹の里歌	13. 3. 1/14. 4.13
	獺祭書屋俳話	9. 1. 1/14. 6. 1
	俳諧大要	10. 1.15
	芭蕉雜談	12.11.10/13頃
	病牀六尺	13. 4. 不/15. 2. 1
	蕪村句集講義	13. 3. 1/S2. 5. 6
	墨汁一滴	13. 4. 不/15. 2. 1/S2. 5?
正宗白鳥 [まさむねはくちょう]	……	5.10.11?/S2. 4. 1
	安土の春	15. 2. 1
	あり得べからざる事	8.12. 5
	泉のほとり	13. 2.12
	大山詣り	15. 2. 1
	乾いた心	6. 1.19
	郷里にて	13. 2.12
	高原から海邊へ	S2. 2. 1
	孝行娘	8. 6. 4
	死者生者	S2. 4. 1
	新婚旅行	15. 2. 1
	他人の子	15. 2. 1

著 者 名	著 作 名	年・月 日
	ダンテに就いて	S2. 4. 1/S2. 5. 1/ S2. 6. 1
	破壊前	9. 4. 不/ 9. 4. 8
	太った女 その他	14. 1. 8
	文藝時評	S2. 1. 1
	文藝評論	S2. 4. 1/S2. 6. 1
	光秀と紹巴	S2. 8. 1
	隣家の夫婦	14. 1. 8
増野三良 [ましのさぶろう]	知慧樹	3. 4. 1
	To R. M.	3. 4. 1
松浦一 [まつうらはじめ]	文學の本質	5. 1. 不
松尾芭蕉 [まつおばしょう]	……	12.11.-13. 7./S2. 6. 1
	曠野	11. 4.24
	奥の細道	15. 7. 1/S2. 4. 1/ S2. 8. 1
	貝おほひ	13. 5. 1
	甲子吟行	14.10. 1
	去来抄	S2. 4. 1
	幻住庵記	10.10.25/11.11. 1
	嵯峨日記	13. 5. 1
	猿蓑	9. 7.11/13. 3. 1/ 14. 1. 1/15. 7. 1
	續猿蓑	9. 9.12/14. 1. 1
	俳諧七部集	14. 6. 1
	舶船集	15. 7. 1
	芭蕉翁行状記	S2. 8. 1
	芭蕉句選	15. 7. 1
	“連句”	14.11. 1
松岡譲 [まつおかゆずる]	赤頭巾	11.10.20
	鳶唄摩	5. 3.24
	九官鳥	11.10.20
	御連枝	6. 2. 8/11.10.20
	地獄之門	11.10.20
	青白端溪	5.10. 8
	二老人	11.10.20
	法域を護る人々	6.10.25/ 6.11.13
松瀬青々 [まつせせいせい]	妻木	9. 2.26
松本初子 [まつもとはつこ]	藤むすめ	5.11. 不
萬造寺齋 [まんぞうじひとし]	亡霊	6. 3. 9
万亭応賀 [まんていおうが]	釈迦八相倭文庫	7. 1. 1

著 者 名	著 作 名	年・月 日
み)		
三木露風 [みきろふう]	女性	3. 4. 1
	村々	3. 4. 1
水木京太 [みずききょうた]	次男	14. 2. 1
	姉妹	14. 2. 1
	継母 [?]	14. 2. 1
水谷勝 [みずたにまさる]	……	9. 11. 20
水守龜之助 [みずもりかめのすけ]	……	8. 12. 5/ 9. 6. 3
	樹を伐る	9. 4. 8
水上瀧太郎 [みなかみたきたろう]	大阪の宿 [?]	15. 10. 20
	貝殻追放	14. 5. 10
	邂逅	12. 8. 1
	海上日記	14. 8. 1
	鏡花全集の記	14. 5. 22
	喧嘩	14. 4. 17
	先生	7. 1. 25
	船中	6. 1. 19
	第3貝殻追放	14. 5. 22
	勤人	14. 8. 1
	友はえらぶべし	14. 8. 1
	日曜	8. 12. 5
	紐育ーリヴァプウル	8. 6. 4/ 8. 12. 5
	初夢	9. 2. 10
	葡萄酒	14. 8. 1
	祭りの日	14. 4. 17
皆川蜷庵 [芥川の虚構の作家]	木の葉 [芥川の虚構の作品]	13. 1. 1
源實朝 [みなもと (の) さねとも]	金槐和歌集	S2. 4. 1
源順 [みなもと (の) したごう]	倭名類聚鈔	11. 5. 1
源経頼 [みなもと (の) つねより]	左経記	11. 4. 1
三宅幾三郎 [みやけいくさぶろう]	……	9. 11. 20
	死へ	9. 4. 8
	新聞批評時代の翹望	S2. 6. 1
宮地嘉六 [みやじかろく]	累	S2. 5. 4
	珍客	12. 8. 1
宮島新三郎	……	8. 12. 5
[みやじましんざぶろう]		
宮武外骨 [みやたけがいこつ]	山東京傳	14?
宮本百合子 → 中條百合子		
[ちゅうじょうゆりこ]		

著 者 名	著 作 名	年・月 日
む)		
向井去來 [むかいきょらい]	去來抄	13頃
	猿蓑	9. 7. 11/14. 1. 1
武者小路實篤	……	5. 8. 1/ 5. 10. 1?/
[むしゃのこうじさねあつ]		6. 8. 1/ 8. 1. 1/ 8. 12. 5/
		9. 6. 1/ 9. 11. 20/13. 5. 1/
		14. 1./S2. 4. 1
	愛慾	15. 2. 1
	或る畫室の午後	15. 2. 1
	或家庭	8. 1. 1
	或青年の夢	8. 1. 1
	或日の一休和尚	12. 6. 8
	一日の素盞鳴尊	12. 6. 8
	運命と碁をする人	15. 2. 1
	彼が三十の時	14. 3. 1
	幸福者	8. 12. 5
	雜感	8. 1. 1
	世間知らず	4. 6. 不
	想像の世界では	15. 2. 1
	その妹	6. 5. 7/ 6. 7. 26/
		8. 1. 1/ 8. 12. 5/
		9. 11. 20
	人間萬歳	12. 6. 8
	秀吉と曾呂利	12. 6. 8
	へんな原稿	8. 12. 5
	日本武尊	6. 1. 19/ 6. 2. 1
	養父	S2頃
村上鬼城 [むらかみきじょう]	鬼城句集	7. 11. 2
	俳諧秘傳	7. 不. 不
村上成満郎 [むらかみしげまろ]	感化	14. 10. 9
村上成之 [むらかみしげゆき]	翠微	14. 10. 9
紫式部 [むらさきしきぶ]	源氏物語	14. 7. 1/14. 11. 1/
		S2. 1. 1/S2. 4. 1/
		S2. 4. 30/S2. 8. 1
	紫式部日記	S2. 6. 1
村田春海 [むらたはるみ]	竺志船物語	10. 12. 3/11. 1. 1
村山槐多 [むらやまかいだ]	槐多の歌へる	9. 9. 1
室生犀星 [むろうさいせい]	……	9. 11. 20/S2. 6. 1
	愛の詩集 [第一]	8. 10. 3/13. 10. 6/
		S3. 1. 10

著 者 名	著 作 名	年・月 日
	愛の詩集 第二	8. 6. 1/ 8.12. 5/ 13.10. 6
	蒼ざめたる人と車	9. 4. 8
	蒼白き巣窟 [?]	10. 1. 25
	高麗の花	13. 8. 26/13. 9. 25/ 13.10. 6/14. 1. 1
	木枯	S2. 2. 1
	抒情小曲集	13.10. 6/S2. 1. 1
	“堇の詩”	12.12.16
	性に眼覚める頃	8.12. 5
	漱石の俳句	15. 8. 9
	妻が里	14. 9. 1
	二本の毒草	9. 4. 8
	庭さき	13.10. 6
	(「高麗の花」の一篇)	
	美小童	15.12. 5
	冬の蝶	S2. 2. 1
	忘春詩集	11.11. 1/13.10. 6/S2. 1. 1
	凡兆の俳句	15頃
	幼年時代	8.12. 5
室賀文武 [むろがふみたけ]	春城句集	10.11.13
も)		
森鷗外 [もりおうがい]	……	6. 8. 1/ 6.11. 1/ 8. 1. 1/ 13.11. 1/14. 7. 1/14.10 不/ S2. 6. 1
	生田川	S2. 4. 1
	意地	2. 8.19
	鷗外全集 第3巻	S2. 6. 1
	鷗外全集 第6巻	S2. 4. 1
	黄金杯 [翻訳]	14.11.14
	蛙	8.10. 1
	顔 [翻訳]	14.11.14
	かげ草	11. 1. 1
	観潮樓偶記	13. 1. 6
	ギョオテ傳	13.10.10
	金貨	9.10. 6
	金毘羅	9.10. 6
	杯	9.10. 6
	里芋の芽と不動の目	15. 5. 20

著 者 名	著 作 名	年・月 日
	佐橋甚五郎	12. 12. 1
	山椒太夫	6. 3. 9
	棧橋	5. 10. 1
	しがらみ草紙 第47號	9. 5. 27
	澀江抽齋	12. 10. 1/S2. 4. 1
	十人十話	2. 8. 19
	走馬燈	2. 8. 19
	ソクラテスの死 [翻訳]	14. 11. 14
	即興詩人 [翻訳]	14. 8. 1/S2. 3. 1
	玉篋兩浦嶼	S2. 4. 1
	奈良五十首	11. 1. 13
	鶏	9. 10. 6
	二人の友	15. 2. 1
	古い手帳から	11. 12. 2
	分身	2. 8. 19
	舞姫	M42. 3. 6
	安井夫人	6. 9. 5/ 9. 10. 1
	ル・パルナス・アンビュラン	10. 2. 1
森幸枝 [もりゆきえ]	“原稿”	9. 6. 24
森川許六 [もりかわきよりく]	自得發明の辨	13. 7. 21
	同門評判	13. 7. 21
	俳諧自讃之論	13頃
	俳諧問答	13頃
	歴代滑稽傳	13頃
森島中良 [もりしまちゅうりょう]	紅毛雜話	S2. 1. 1
森田思軒 [もりたしけん]	“翻譯小説”	14. 10. 不
	ルキ・フィリップ王の出奔	14. 11. 8
森田草平 [もりたそうへい]	……	5. 10. 11?
	輪廻	15. 3. 8
文部省 [もんぶしょう]	假名遣改定案	14. 3. 1
や)		
八島定岡 [やしまでいこう]	俊傑神稻水滸傳	11. 1. 1
安井息軒 [やすいそっけん]	辨妄和解	14. 12. 20
安成貞雄 [やすなりさだお]	……	10. 2. 1
安成二郎 [やすなりじろう]	……	7. 2. 1
柳沢淇園 [やなぎさわきえん]	獨寢	13. 8. 1
柳澤健 [やなぎさわけん]	涙	3. 4. 1
	バツハマン論	3. 4. 1
柳田國男 [やなぎたくにお]	遠野物語	M43? 7? 7/13. 3. 1

著 者 名	著 作 名	年・月 日
	山島民譚集	9. 9.30/S2. 3. 1
	まひまひつぶろ	S2. 6.10
	山の人生	15.12. 2/S2. 7. 1
柳原燐子 → 柳原白蓮		
[やなぎはらびゃくれん]		
柳原白蓮 [やなぎはらびゃくれん]	……	14. 2. 1
矢野目源一 [やのめげんいち]	静寂の外に (訳)	15.11. 不
山岡元隣 [やまおかげんりん]	古今百物語評判 [?]	13. 6. 1
山口信章 [やまぐちのぶあき]	素堂句集	9. 1. 9
山崎樂堂 [やまさきがくどう]	俳句格調の本義	15. 7. 1
山崎美成 [やまざきよししげ]	……	13. 8. 1
山路愛山 [やまじあいざん]	孔子論	15. 4.23
山田孝雄 [やまだよしお]	文部省の假名遣改定案を論ず	14. 3. 1
山中未成 [やまなかみせい]	……	S2. 4. 1
山中峯太郎 → 山中未成		
[やまなかみせい]		
山部赤人 [やまべのあかひと]	……	9. 6. 1
山村暮鳥 [やまむらぼちょう]	聖三稜玻璃	S2. 1. 1
山本有三 [やまもとゆうぞう]	女親	14.10. 1
	生命の冠	9.11.20
	途上 [?]	15. 5. 9
ゆ)		
兪樾 [ゆえつ]	右台仙館筆記	15.11. 不
湯川梧窓 [ゆかわごそう]	草訣百韻歌	11. 1. 1
よ)		
楊時喬 [ようじきょう]	馬政紀	14. 1. 1
雍陶 [ようとう]	和劉補闕秋園寓興六首	9.11. 1
葉德輝 [ようとくき]	觀古堂藏書目	10. 5.31
横井也有 [よこいやゆう]	鶉衣	S2. 5. 1
横光利一 [よこみつりいち]	計算した女	S2. 2. 1
	首	S2. 6. 1
與謝蕪村 [よさぶそん]	十便十宣	7.10.21/13. 2. 1/ 9. 9.12/
	蕪村句集	12. 3. 1/13. 2. 1/
		14.10. 不/S2. 5. 6
與謝野晶子 [よさのあきこ]	……	8.11.11/ 9. 9. 2
	瑠璃光 [?]	14. 2.14
吉井勇 [よしいいさむ]	……	7. 2. 1/ 9.11. 1
	昨日まで	2.12.30
	酒ほがひ	M43?10? 5/14. -15. /

著 者 名	著 作 名	年・月 日
		S2. 4. 1
	俳諧亭句樂の死 [?]	13. 6. 1
	囊の女	M44. 3. 14
	夢介と僧	M44. 不. 14/M44. 3. 14
吉江孤雁 [よしえこがん]	“小品集”	S2. 5. 1
吉田兼好 [よしだけんこう]	徒然草	13. 3. 1/13. 4. 1/14. 5. 1
吉田絃二郎 [よしだげんじろう]	……	8. 12. 5/13. 5. 1
	芭蕉	13頃
	馬鈴薯畑	8. 6. 4
吉田泰司 [よしだたいじ]	“「河童」の批評”	S2. 4. 3
ヨネ・ノグチ → 野口米次郎		
[のぐちよねじろう]		
ら)		
羅貫中 [らかんちゅう]	……	6. 10-11
	秦淮畫航録	11. 1. 1
	煬帝艷史	11. 1. 1
頼山陽 [らいさんよう]	……	9. 7. 20
	山陽詩鈔	9. 8. 9
	日本外史	M39. 不. 不/12. 2. 1/ 13. 2. 1/14. 4. 1/15. 8. 1
り)		
李義山 → 李商隱		
[りしょういん]		
李九齡 [りきゅうれい]	……	13. 1. 6
李漁 [りぎょ]	意外縁	9. 2. 12
	偶集卷之三, 聲客部	10. 8. 17
	肉蒲團	9. 1. 31/ 9. 2. 12/10. 3. 26
	問情偶寄	11. 4. 1
陸楫 [りくしゅう]	古今説海	11. 5. 20
李商隱 [りしょういん]	……	M43. 7. 3
李太白 → 李白 [りはく]		
李白 [りはく]	……	M43. 7. 3/S2. 12. 1
	“青蓮龍標の絶句”	9. 9. 12
	太白集	11. 1. 1
	李白越中懷古	11. 1. 1
李攀龍 [りはんりゅう]	唐詩選	10. 8. 17
李復言 [りふくげん]	杜子春傳	9. 7. 1/S2. 2. 3
柳里恭 → 柳沢淇園		
[やなぎさわきえん]		

著 者 名	著 作 名	年・月 日
李笠翁 → 李漁 [りぎょ]		
劉向 [りゅうこう]	戰國策	9. 2. 25
柳宗元 [りゅうそうげん]	列仙傳	S2. 5. 6
劉文蔚 [りゅうぶんい]	至小邸西小石潭記	2. 12. 9
柳亭種彦 (2世)	詩韻含英	S2. 4. 1
[りゅうていたねひこ]	童謡妙々車	7. 1. 1/15. 6. 1
瀧亭鯉丈 [りゅうていりじょう]	花暦八笑人	8. 12. 1
良寛 [りょうかん]	良寛和尚詩歌集 [?]	8. 9. 9
旅囊 [りょうのう]	圓機活法	11. 1. 1
李林甫 [りりんぽ]	……	9. 4. 16
林洪 [りんこう]	山家清事	11. 1. 1
ろ)		
老子 [ろうし]	老子道德經 [?]	S2. 8. 1
わ)		
若山牧水 [わかやまぼくすい]	最新代表歌選	6. 1. 1
和氣律次郎 [わけりつじろう]	……	7. 8. 24
	畫僧 フラ・アンジェリコ	9. 7. 8
	雙生児の復讐	14. 2. 14
和田久太郎 [わだきゅうたろう]	獄窓から	S2. 3. 28/S2. 4. 4
渡邊庫輔 [わたなべくらすけ]	……	11. 1. 13
	繪踏	11. 3. 31/11. 4. 22
	去来	11. 4. 22
	切支丹雜考	11. 7. 8
	シイボルト	11. 7. 8
	“大導寺信輔評”	14. 4. 16
	双車樓雜藁	11. 4. 22
和辻哲郎 [わつじてつろう]	偏頗と党派心—森田草平氏に	6. 5. 7
	“森田君との論争”	6. 6. 10
和邦額 [わほうがく]	夜譚隨錄	7. 5. 1/ 9. 2. 8
藁井文暁 → 文暁 [ぶんぎょう]		

[本稿は、外部研究者もプロジェクト員を迎え得ていた時期からの共同研究者である、京都大学法学部図書室の山田忠彦氏との共同製作である。また、内藤朱美氏の編集に与った。ただし、最終的な編集責任は、志保田務にある。]

Index of "A bibliography of writers who were read by
Ryunosuke Akutagawa, based on Akutagawa
Ryunosuke Zenshu, published by Iwanami Shoten,
Tokyo, 1977-1978, 12 volumes"

Tsutomu SHIHOTA
Tadahiko YAMADA

Ryunosuke Akutagawa (1892-1927), one of the major novelists in modern Japan, is also famous as an adapter who learned from other writers in Japan and abroad. His works are considered bookish. Therefore, we assumed that he read many writers' works in his day, and we tried to prove the causality and we attempted to show how these works affected his own writing. In this work we would show some materials of the above facts consisting on the records of "A bibliography of writers who were read by Ryunosuke Akutagawa, based on Akutagawa Ryunosuke Zenshu, published by Iwanami Shoten, Tokyo, 1977-1978, 12 volumes". At next time we will analyze the materials above mentioned. By the way, the bibliography was issued in the March 1996 edition of this journal, vol. 21, no. 3.

Each entry in this index has three items: the writer's name, the title of the work, and the date when Ryunosuke Akutagawa would have read the work. Entries are ordered according to the writer's name in the Japanese syllabary because this index deals with Japanese, Chinese and Korean writers only.